

第十七回なめがた狂歌第二期入選作品												作者(敬称略)	住所または学校名
新婚の頃は菓子入れだったのが今じゃ二人の常備薬入れ												田曾 真由美	千葉県八千代市
旧友の訃報に集う同期生通夜の席借りにわかクラス会												木下 高一	北海道北広島市
「さっきはごめん！星空がきれいだよ」二階の娘からメールが届く												瀧崎 美子	行方市
社の未来熱く語っていた君が退職代行使い去るとは												コタラフ	水戸市
戦争を消す消しゴムがあつたならすぐにでも消す何度でも消す												まなみ	兵庫県宝塚市
友達の名前呼ぼうと思ったら急に出てくるいとこの名前												添田 維智悟	行方市立麻生小学校
妹にかしてあげたよぬいぐるみこれでわたしもおねえちゃん												小澤 莉渚	行方市立麻生東小学校
栗ゆでて虫が出てきておどろいた出てきた虫もおどろいたかな												高須 崇矢	行方市立麻生東小学校
テスト中終わ리と思つて待つてたら先生言つた裏もあるよと												小林 杏奈	行方市立北浦小学校
テスト中知らない問題とばしたら開始五分でテスト終了												宮川 穰	行方市立麻生中学校
お月見で月を見上げて思うのは「あのうきぎはいくつなのだろう」												江口 結人	行方市立麻生中学校
夏の時期勉強の壁恐ろしい乗り越えるたび次の壁くる												横田 瑛人	行方市立北浦中学校

※選歌会において一部校正した作品があります。

祖母か母誰を信じるおじいちゃん祖母や母より孫を信じて	小林 美唯奈	行方市立北浦中学校
夏休み課題終わらず最終日それでも僕は遊びに向かう	河野 広生	行方市立北浦中学校
努力して臨みし点は赤点で寝てたあいつがなぜ八十点	齋藤 悠乃	神戸市立須磨翔風高校
秋がきた授業ねむすぎ目が閉じる目を開いたら前に先生	江口 陽大	神戸市立須磨翔風高校
試合前頭に浮かぶイメージは頭上に挙げる重さと勝利	村上 恒輔	茨城県立玉造工業高校
夏祭り浴衣着た君可愛くて俺の頭の花火弾ける	宇都木 望麓	茨城県立玉造工業高校
電池切れ心もどこか空っぽに恋も心も充電しとこか	大畑 真尋	日本体育大学医療専門学校
見直して「やっぱりこれだ」書き直すそれがまさかの正解つぶし	山口 莉彩菜	日本体育大学医療専門学校
上京し口調が変と馬鹿にされ「そげん訛っているでござすか」	村山 由亜	日本体育大学
テスト前教授の言葉神と化す「ここは出るよ」にマーカー走る	安河内 元創	日本体育大学
やる気出すタイミングだけ完璧でやった気だけがノートに満ちる	吉村 颯太	日本体育大学
忙しい！課題は明日に後回し明日の自分あとはまかせた	本田 康義	日本体育大学
初選挙与党野党も分からずも批判してみる石破政権	齋藤 光風	日本体育大学

※選歌会において一部校正した作品があります。